

## レボドパ血中濃度測定研究

### 1. 研究の対象

2008年8月～2018年4月に当院にパーキンソン病として入院され、運動症状の日内変動があり、薬剤調整のため、ドパの血中濃度連続測定（同一日に5回以上の採血）と同時に運動症状の診察を受けた患者さん

### 2. 研究目的・方法

朝8時からよる7時までの間、1時間毎に採血をします。1回の採血量は2～3mlで、合計20～30mlの血液を採取します。これは、通常の検査採血2、3回分に相当します。採血の痛みを考慮して、あらかじめ、樹脂製の柔らかいカテーテル針を留置（静脈に置いておく）しておいて、採血する場合があります。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、パーキンソン病の治療歴、ジスキネジアやオフなどの発生状況、カルテ番号等

試料：血液

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒616-8255

京都市右京区鳴滝音戸山町8

国立病院機構 宇多野病院 関西脳神経筋センター 臨床研究部

「レボドパ血中濃度測定研究」研究グループ 担当者 森裕子

研究責任者：国立病院機構宇多野病院 澤田秀幸